

平成26年度 大住地区敬老会 舉行

9月15日 大住地区敬老会の舉行にあたり、町内会長はじめ地域各種団体のみなさんのご協力をいただき、今年度も盛大に開催することが出来ました。園児や児童によるお祝いの披露そして多彩な余興で参會のみなさんに楽しんでもらう事ができました。



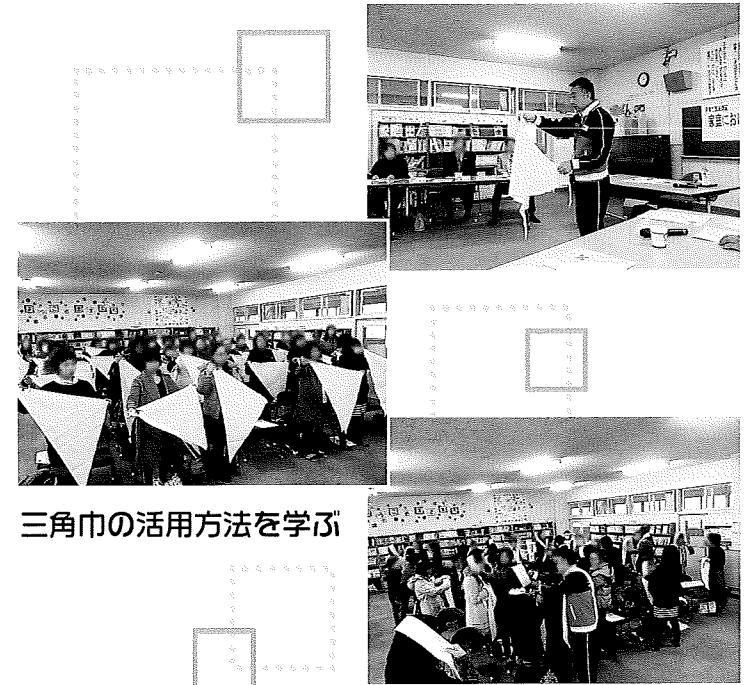
12月5日 子育て支援講座開催

- 今回初めて救急処置を教わり、知っておくと安心だと思
い自宅に帰ってからもやってみました。
- 楽しく確認しながらの講座で良かったです。
- 時間がもう少しあっても良かったかなと思いました。



子育て支援講座

**講 話 三角巾を活用した
「家庭における救急処置について」**
* 三角巾の活用方法実演
講 演：日本赤十字社秋田支社 業務推進課課長 いわや 谷壽朗
○ 日 時：平成 26 年 12 月 5 日（金）14：45～15：30
○ 場 所：大住小 図書室
○ 参加者：1・2年保護者、大住小教諭、大住地区社協役員
次 第 挨 捶 大住地区社会福祉協議会会長 真坂芳明
挨 捶 大住小学校 校長 安宅輝世
講 演 日本赤十字社秋田支社 業務推進課課長 いわや 谷壽朗
主 催：大住地区社会福祉協議会
協 黄：秋田市立大住小学校



福祉懇談会開催

12月5日
於：大住小図書室



6/28

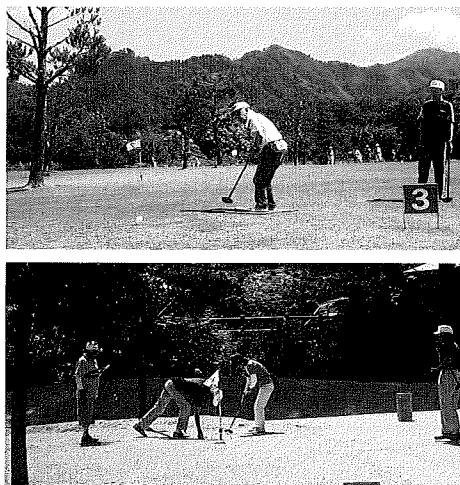
大住地区社会福祉協議会主催 第3回グラウンドゴルフ大会開催

地域の高齢者の健康づくり、生きがいを目的にスポーツを通じ交流と親睦を深めるため6月28日大平山リゾート公園で40名が参加して開催されました。

本大会の上位5名は秋田市社協の予選会をも兼ねた試合で、上位4名は大住南町内会の方々でした。当日は、好天に恵まれ「楽しかった」などの声も多数聞かれました。



優勝 男子 佐々木茂和 女子 佐々木真理子



好天の中、気持ちよくプレーを楽しむ

赤い羽根共同募金活動

12月1日～12月31日

始めに各町内会、事業所、団体、学校（秋田南高校、大住小学校、太陽幼稚園）等からの募金活動へのご協力に心より感謝申し上げます。

昨年同様、社協役員を7グループに分け、大住地区内を訪問させていただきました。地元企業でもないお店も本部などに相談してご協力を下さり、改めて地域のお店の必要性を感じました。

これからも、地域の皆様の御協力宜しくお願い申し上げます。



地域の輪 つながる広がる 赤い羽根

赤い羽根共同募金 寄付者一覧

1 山岸クリニック	26 ウィズヘア
2 三皇シーリング	27 理容フラワー
3 健ナイス 仁井田店	28 理容センスワークへー
4 三皇熊野神社	29 利郎ガラス店
5 おおすみ歯科医院	30 むぎの音
6 健秋田加藤	31 みちおか文具店
7 レストハウス井畠	32 舞
8 旬杉本板金	33 ほっかほっか亭
9 旬さか本	34 とよまき整骨院
10 めん峯	35 セリア秋田 仁井田店
11 マイム秋田菅原店	36 鈴木建設
12 富士クリーニング	37 渋谷惣菜
13 美容室 JD	38 ザ・ガレージ
14 すずや衣料店	39 奥寿し
15 コスマ城南ホール「ブリエ」	40 オートバックス秋田仁井田店
16 著物の和光	41 伊藤石油
17 健アサヒヤ塗装店	42 秋田銀行大住支店
18 大住調剤薬局	43 山森クリーニング
19 石郷岡電機	44 秋田南高校
20 池田自動車板金塗装店	45 大住小学校
24 アクアス	46 太陽幼稚園
25 愛川整形外科クリニック	

順不同

6/9

宮城県石巻市被災地視察研修

東日本大震災の研修に参加して

大住町内会 伊 藤 富 雄

平成26年6月9日大住地区社会福祉協議会主催の東日本大震災の研修で宮城県石巻市を訪れた。案内をしてくださった方はご自身津波の被害者で身内の方を津波によって失った方であり、その語り部は大津波や住民の被災の有様を彷彿させるものであった。

被災後3年を経過しているとはいって、被災した家屋がいまだ手つかずでそこに残っていて、その瞬間まで平穏に生活していた街並みが、一瞬のうちに津波に呑み込まれた惨状がさまざまと眼前に迫ってくるようで、その恐ろしさに身の引き締まるのを感じた。

一面原野のようになった被災地の一角に慰霊の地蔵尊が建立されてあった。

未曾有の大震災に生命を、愛する家族を奪われた方々の恐怖と無念を思い参加者一同深く頭を垂れご冥福を祈った。

被災地視察研修に参加して

大住北町内会 春 日 房 子

目に飛び込んで来た町の様子に、思わず鳥肌が立ちました。ドラマでも見ているような世の中にこんな事がおきるのか？ 知人が福島と宮城におり、すぐ宮城に行きました。町の中はガソリンを求める人達で行列、墓石は倒れ家は崩れすさまじい状態でした。

僅かばかりの水と食料とそしてガソリンを持参し、とくにガソリンは喜ばれました。高速道路はタンクローリーや自衛隊の車、パトカーはサイレンを鳴らし、今でもあの時見た光景は脳裏から消えません。あれから3年経過した大住地区社会福祉協議会の主催で石巻被災地視察研修に参加する事が出来ました。いまだに不明者数百人とも言われています。

残っているのは家の土台だけ、被災者の実話「命からがらやっと安全な所まで行き家族はバラバラ、数日後無事との連絡があった。」など、聞いているうち胸がいっぱいで涙が出ました。被災地に手を合わせそれぞれの思いを胸にバスに乗りました。



秋田市大住地区社会福祉協議会創立30周年
10/19 記念式典・記念講演・祝賀会

10月19日(日)パークホテルに於いて来賓に田口秋田市福祉保健部長をはじめとし、数多くの町内からの参加者や各種団体の皆様のご協力を賜わり、7名の方（2名欠席）を表彰した記念式典や、牛島地域包括支援センター管理者仙北谷幸子氏による記念講演および祝賀会を盛大に開催しました。



表彰の栄を受け

高 橋 重 道

昨年10月19日本協議会創立30周年記念式典に於いて、不肖私が表彰を受けて身に余る光榮で、関係者に感謝の意を表します。

昭和59年3月に牛島・仁井田地区社会福祉協議会から独立し、市内32番目の社会福祉協議会として産声を上げて以来、敬老会・共同募金・歳末助け合い運動等を展開し近年は、見守りネットワーク・地域サロン・安心キットの配布等多岐に及ぶ事業の展開を行っております。今社会は少子高齢化時代、発足当時は考えもしなかった要援護者は、各地区とも増加の傾向にあり社会福祉協議会の果たす役割は益々重要になります。地域住民として自ら率先し福祉活動に取り組む必要があると思います。

昔はあたり前の助け合いも現在では、見て見ぬふり。関わりたくない意識が横行している様な気がします。お互いいつかは訪れるかも知れないその時に備えて自助、共助そして近助の心で考えたいと思っております。

大住地区社会福祉協議会創立30周年 記念すべき日に当たり

門脇 利成

日頃、私なりに考えることは、福祉とは何だろうと思う時、福祉についての解釈は人によってさまざまであり「時には社会福祉のために」と言うような一般的に抽象的な言葉として使われた時もあるように思われます。いずれにせよ、長い過去には恤救規則や、慈善事業、福祉事業などの系譜をたどり、苦労の末昭和20年に社会の需要に対応すべく、社会福祉と改めて現在のようにきめ細かく分類されて、より良い対応が可能になったのではと考える時に私達福祉に関連する者として、行政の制約の狭間で年々増加を辿るなか誰もが避けて通ることの出来ない高齢を直視し、地域に根ざした福祉活動について、町内会や諸団体等の幅広い方々との連携が不可欠であります。また真摯に耳をかたむけ、お互いが福祉を理解しあい、地域での見守り等、近隣住民の高齢者世帯などを気にしながら、

虐待の兆候など未然防止に取り組むことが肝要ではないだろうか。

終わりに、大住地域の大先輩の方々に心より敬意と感謝を申し上げ受賞の感想と致します。

安心キット（無料配布）



大住地区において、268名のご高齢者に配布しております。ご好評により更なる希望をお受けしております。

大住地区社協にご相談下さい。

平成26年度 大住地区社会福祉協議会役員名簿

(平成25年4月～平成27年3月)

職名	氏名	住所	電話番号	備考
顧問	小木田喜美雄			
顧問	梅邑 供治			
1 会長	真坂 芳明			
2 副会長	長谷部三夫			
3 "	皆川 勝美			
4 常任理事	高橋 重道			
5 "	平野 貢則			
6 "	進藤 征喜			
7 "	高橋 知子			
8 "	小松 友子			
9 "	森 加寿美			
10 "	小木田美喜子			
11 "	渡辺 新			
12 "	戸嶋 元美			
13 "	西野 清			
14 "	鈴木 裕子			
15 監事	伊藤 富雄			
16 "	中村 一六			
17 理事	会場 金一			
18 "	川越 政美			
19 "	飯島 明			
20 "	榎 勝子			
21 "	藤原 勉			
22 "	高橋 武			
23 "	鈴木 良一			
24 "	相川 弘子			
25 "	塚田 朋子			
26 "	田澤つま子			
27 "	林 百合子			
28 "	鈴木 捷子			

平成26年度大住地区社会福祉協議会 事業概要

月 日	主 事 業	備 考
4/12	理事会	レストハウス井畠
4/26	評議員会	大住コミセン
5月	日赤社費強化月間	
6/9	宮城県石巻市被災地視察研修	石巻市
6/28	大住地区社協 グラウンドゴルフ大会	太平山GG
7月	秋田市社会協会員募集 7月～9月	太平山GG
7/19	市社協グランドゴルフ大会へ参加	太平山GG
7/27	町内会長合同会議、民児協、大住地区社協	大住コミセン
9/15	大住地区敬老会	大住コミセン
10月	赤い羽根共同募金 10月～12月	
10/19	大住地区社協創立30周年記念事業	アキタパークホテル
11/8	ふれあい集会	角館温泉 花葉館
11/29	福祉協力員研修会	レストハウス井畠
12/5	子育て支援講座	大住小
12/5	大住小ボランティア委員との福祉懇談会	大住小
12月	歳末助け合い募金運動 12月1日～12月20日	
12/20	歳末助け合い募金分配委員会	レストハウス井畠
2/2	ふれあい広場	大住コミセン
3/15	大住社協だより No.28号発行	

平成26年度 各種募金状況一覧表

平成27年3月31日現在
大住地区社会福祉協議会

No.	町内会名	日赤 社費	全戸会 費	敬老会	赤い 羽根	歳末 助け合い
1	庚塚東	0	3,240	900	900	900
2	庚塚	0	10,800	2,900	2,900	0
3	いな穂	1,000	9,720	2,700	2,700	2,700
4	牛島西二丁目本町	3,500	14,400	4,000	4,000	4,000
5	庚塚南	22,000	30,960	8,600	30,100	8,600
6	牛島西第一	11,00	30,000	10,000	10,000	5,000
7	稗田南	49,500	68,040	18,900	10,000	10,000
8	庚塚西新町	0	18,720	5,200	20,800	2,650
9	おたかの橋	2,500	64,800	18,000	16,000	15,000
10	三皇竹原	5,000	66,600	19,000	18,500	18,500
11	牛島西四丁目	96,900	100,800	28,000	168,000	28,000
12	東潟敷	4,000	72,000	25,000	36,000	12,500
13	東潟敷南	8,000	44,640	12,400	12,400	12,500
14	大住南	11,500	45,000	18,000	37,000	6,000
15	大住北	34,000	26,000	14,000	45,000	6,000
16	大住団地	0	0	0	0	0
17	大住中央通り	9,000	25,200	16,500	30,000	20,000
18	大住	38,500	51,840	18,000	44,500	15,400
19	落見幸町	19,000	18,000	5,000	5,000	5,000
20	仁井田潟中新町	5,000	40,320	11,200	34,400	5,000
21	仁井田潟中町	3,000	25,200	10,000	10,000	5,000
22	仁井田落見町	8,000	36,000	12,000	20,000	6,500
23	仁井田緑町	0	5,400	2,000	5,000	2,500
24	仁井田西潟敷	5,500	5,040	10,900	15,000	10,800
25	みなみ野	2,500	51,000	28,300	56,600	28,300
26	仁井田西潟敷北	3,500	12,960	3,600	4,000	4,200
27	第二みなみ野	5,000	54,000	10,000	15,000	12,500
	小計	347,900	930,680	315,100	653,800	246,550
28	幼稚園・学校関係				54,903	
29	個人・商店・企業等				128,510	
	小計				183,413	
	合計	347,900	930,680	315,100	837,213	246,550

11/10 ふれあい集会

ふれあい集会に参加して

庚塚西新町内会 佐 藤 直 吉

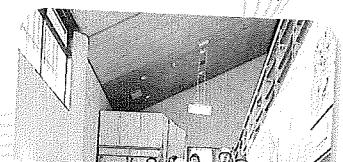
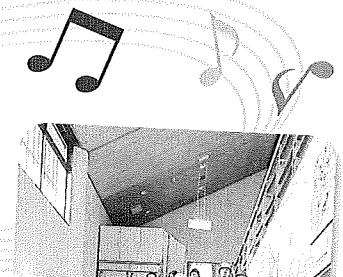
赤く色づいた柿の実の枝がたわわにしなる秋の一日、地域のみなさんと集う温泉への旅は、和やかな雰囲気の中、語り合うことで、親睦を深め、百葉の長のお酒とお膳の料理に舌鼓をうちながら、自慢の喉を披露するカラオケや、童心に返ってはしゃぐジャンケン大会と、大いに盛り上がり、忘れられない幸せな時間を過ごす事が出来ました。

高齢化社会が急速に進む今日、社会孤立の防止を図るためにも、地域住民の集う“ふれあいの場”としての取り組み、これからも続けてもらえるよう念じています。

この度の企画をしてくださった大住社会福祉協議会と携わってくれたスタッフのみなさんに、心よりお礼申し上げます。



民生児童委員による余興



盛りあがったジャンケン大会

編 集 後 記

平成26年度に於ける大住地区社協の事業も無事終える事が出来ました。特に今年度は、東日本大震災における宮城県石巻市被災地視察研修会の実施、そして大住地区社協の創立30周年記念事業の開催と、各種諸団体のご支援・ご協力また地域の皆さんとのご参会をいただき盛会に終える事が出来ました事に感謝申し上げます。

これからも地域の皆さんに喜んで貰えるよう地域福祉活動に従事して参ります。

最後に社協事業の推進にあたり、民生児童委員・町内会長そして社協福祉協力員のご協力に感謝申し上げます。

事務局 渡辺 新

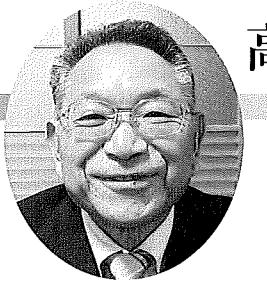
大住社協だより

No.28

平成27年3月15日

発行責任者：秋田市大住地区社会福祉協議会 会長 真坂芳明

題字：佐々木満 筆



高齢者が安心して暮らせる町づくりに向けて

大住地区社会福祉協議会

会長 真 坂 芳 明

皆様ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より皆様には大住地区社会福祉協議会（以下大住地区社協という）について、格別のご支援、ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

この一年を振り返りますと、大住地区社協の事業も例年同様、敬老会を筆頭に、ふれあい集会、福祉懇談会、子育て支援講座、グラウンドゴルフ大会、ふれあい広場地域強化サロン等を開催することが出来ました。これも偏に地域の皆様や太陽幼稚園、大住小学校の皆様の絶大なご協力の賜と感謝申し上げる次第でございます。

それに、今年度は新たな事業として、大住地区社会福祉協議会創立30周年記念事業や被災地視察研修バスツアー事業を催し、創立30周年記念では地域福祉に貢献された受賞者を数多くの参加者や来賓が囲み祝福し、そして、被災地視察研修では、宮城県石巻市を巡り、被災地の一角に建立された慰霊の地蔵尊や海岸において慰霊祭を行うなど、新たな事業も滞りなく終えることが出来ました。

一方、少子・高齢化が一段と進む中、当大住地区の福祉を取り巻く環境も大きく変化しており、こうした情勢の中で、高齢者や一人暮らし高齢者、高齢者世帯などの取り巻く環境を憂慮しながら「誰もが安心して暮らせる町づくり」それと、今年度、大住地区の課題としての取組み、「災害時要援護者の避難支援プラン」の確立など、地域福祉への関心が一層高まることを受けて、地域福祉推進の役割を果たすべく当大住地区社協の役割はますます大きなものとなってまいります。地域の皆様と信頼関係の強化を図る事や、行政、各関係団体等と連携を築きながら幅広い地域福祉活動に取組む所存でございます。

皆様の変わらぬご支援・ご協力を願い申し上げ、今年もお健やかに過ごされますよう、心からお祈り申し上げます。

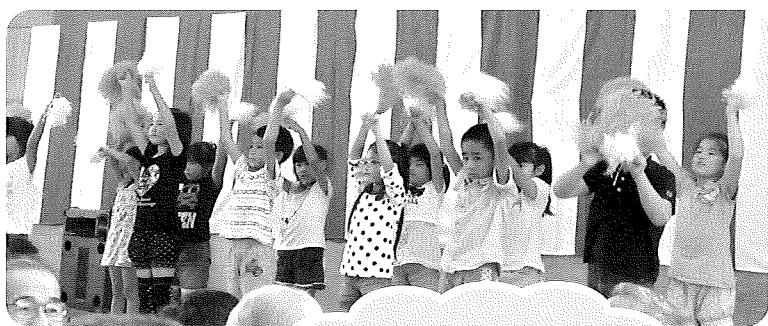




太陽幼稚園児によるお遊戯
のりのりわかれ・
月夜のポンチャラリン



藤間流綾ふじ会
藤間一寿綾門弟による
日舞 長唄 菊づくし



大住小児童による歌 めだかの学校
ダンス 太陽と風の子テーマソング

敬老会に初参加して

東潟敷南町内会 高 橋 一 征

平成26年9月15日大住地区社会福祉協議会主催の敬老会に初めて参加しました。

私は長年社協の招待する側にいましたが、招待される側になったことはうれしいやら何か複雑な気持ちになりました。社協会長さんに対し何を発言したのか定かではありませんが、確かに老人は閉じこもりがちになるので、極力おもてへ引っ張りだすことを考えてほしいと言ったつもりでした。祝賀会では多くの知人友人と語り合うことができたし、楽しい一日を過ごすことができました。私も父や母の年齢を飛び越えて大住地区で生活しておりますが、現在私はある書物の事例を心して、日常生活に結びつけようとして努力しているものがあります。その1は、「ゾウ」のようにゆっくり呼吸する大きな動物は長生きであり、「ネズミ」のような小動物は短命である。したがって私は長息を心がけ長生きし、健康寿命を追及しています。その2は、食事をおいしく食べることは健康と生きがいにつながる。したがって健康に注意するだけでなく感謝の心と、少しでも楽しい環境の中で食事することとしています。その3は、過去を振り返ると今日が一番古い日ですが、将来を考えると今日が一番新しい日なのです。したがって私は毎日今日が一番新しい日として後悔しない生活をしようと努力しています。地域福祉に携わっている皆様には、安否確認や見守り活動を通じてお世話になっておりますが、私たち高齢者も自主自立を目標に地域活動に参加していきたいと思っています。今後の大住地区社会福祉協議会の発展と敬老会の成功をお祈りし、お礼とします。



参加者代表からの謝辞

平成26年度 福祉協力員研修会開催

大住地区社会福祉協議会「福祉協力員研修会」に参加して

東潟敷町内会 福祉協力員 西野 清

11月29日(土)、大住地区社会福祉協議会主催の「福祉協力員研修会」に参加しました。

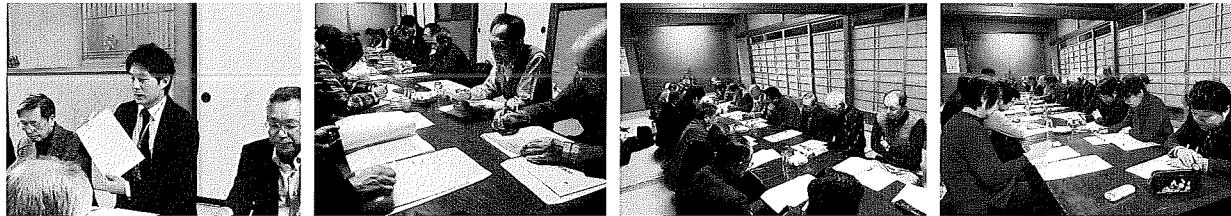
研修会は大住地区社会福祉協議会会长、三役の他福祉協力員の皆様が参加し、秋田市社会福祉協議会地域福祉課の戸島主事を講師に迎え講演をいただき、研修を受講しました。

戸島主事からは秋田県における福祉の状況や、秋田市内の各地区の福祉協議会の活動事例などをお話ししていただきました。

「大住地区社会福祉協議会福祉協力員連絡会」制度は平成24年11月に発足し、3年目になりました。発足当時、福祉協力員になられた方たちは、「何をしたら良いのか?」「福祉協力員の役割とは?」等々、戸惑いもありましたが、今では地区における福祉協力員としての役割を認識し、地区の社会福祉事業に積極的に取り組んでいます。今回の研修会では、今後の地区の福祉事業の取組みについて大いに参考になりました。今後、福祉協力員の一員として地区の皆様に貢献できるよう取り組んでいこうと決意した次第です。

大住地区社会福祉協議会福祉協力員名簿

	町内会	協力員	備考
1	三皇竹原	皆川 勝美	代表
2	稗田南	会場 金一	代表代行
3	仁井田西潟敷	川越 政美	代表代行
4	東潟敷	西野 清	事務局兼会計
5	落見幸町	熊地 信雄	監査
6	稗田南	加藤 孝子	
7	牛島西第一	金子 則子	
8	おたかの橋	田口 充	
9	いな穂	高橋 征一	
10	大住南	金 良治	
11	東潟敷南	伊藤 正良	
12	仁井田潟中町	高橋 武	
13	牛島西四丁目	一関 新一	
14	牛島西四丁目	鈴木 良一	
15	第二みなみ野	門脇 利成	
16	仁井田落見町	伊藤 八郎	
17	東潟敷	柴崎 衛	監査
18	大住中央通り	高橋 和夫	
19	仁井田西潟敷北	大庭 歩正	
20	庚塚南	閔 章平	
21	大住	石郷岡知子	
22	大住北	相川 弘子	



2/2 ふれあい広場 開催

大住コミセンに於て、6町内会（東潟敷、東潟敷南、みなみ野、第二みなみ野、仁井田西潟敷、仁井田西潟敷北）の一人暮らし高齢者を対象に、昼食を摂りながらカラオケ、ジャンケン大会などを行い、最後に参加者からの感想

を聞き、「楽しかった」という言葉を沢山頂き胸をなでおろし終了しました。

